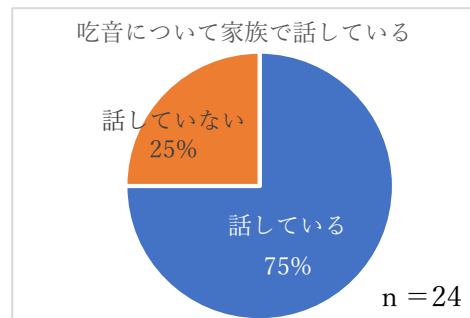


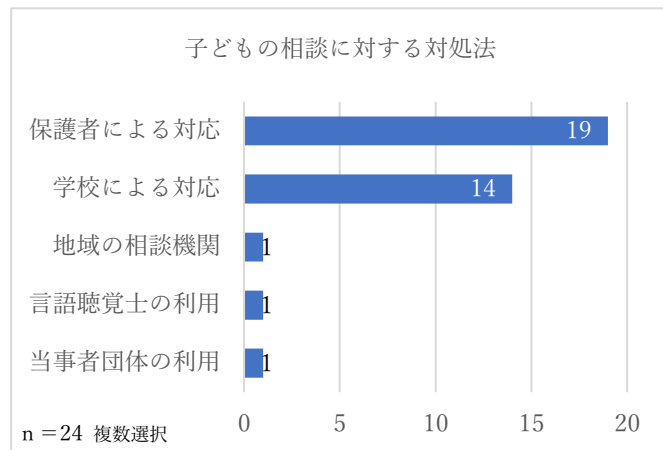
「 保護者アンケート 結果 」

調査期間：令和2年11月16日～11月30日（24名/44校）

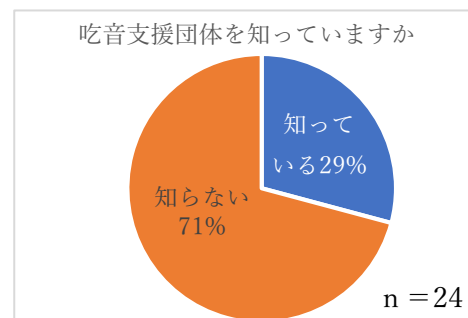
1 吃音についてお子さんと家族で話していますか？	
①はい	18
②いいえ	6



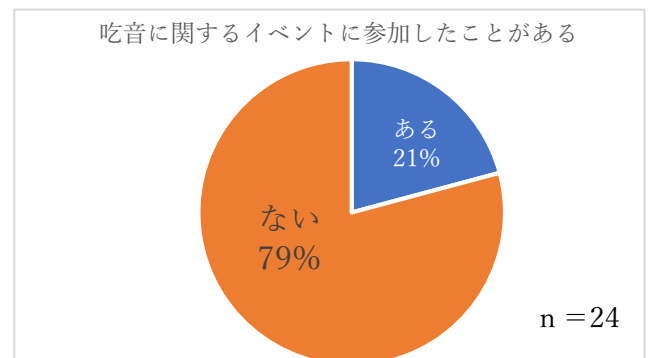
2 お子さんの相談に対してどのように対処していますか？	
①保護者による対応	19
②学校による対応	14
③地域のことばの教室や相談機関の利用	1
④言語聴覚士の利用	1
⑤当事者団体の利用	1
⑥その他	0



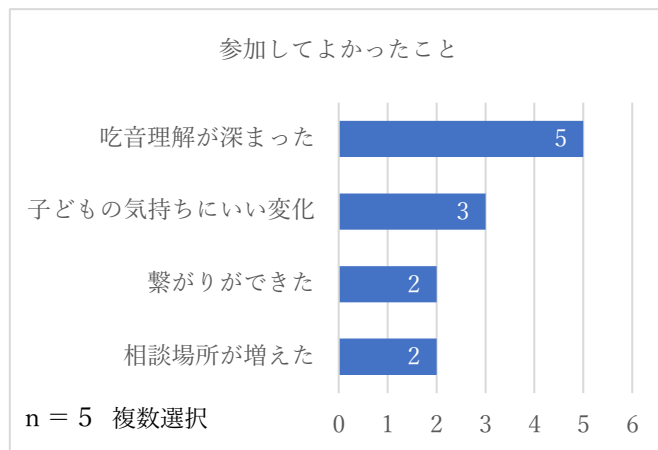
3 沖縄の吃音当事者団体を知っていますか？	
①知っている	7
②知らない	17



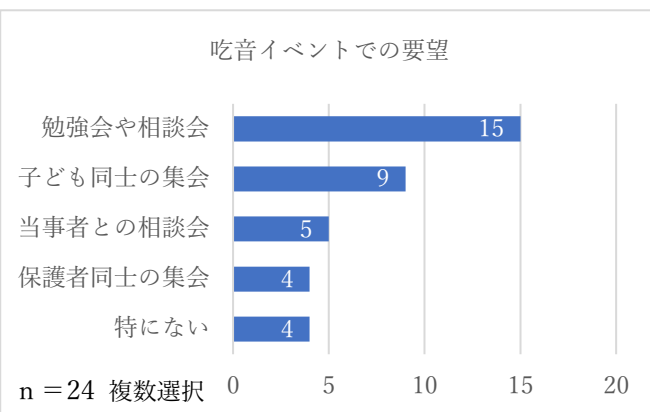
4 勉強会や理解啓発に関するイベントに参加したことがありますか？	
①はい	5
②いいえ	19



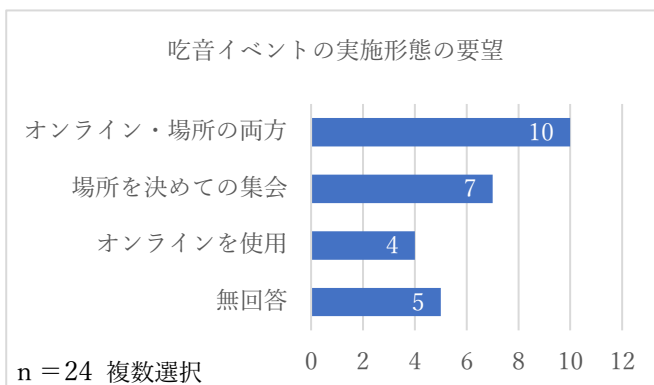
5 参加してよかったことは？	
①吃音に関する理解が深まった	5
②参加後に、子どもの気持ちにいい変化があった。	3
③子どもや保護者同士のつながりが出来た	2
④相談する場所が増えた	2
⑤特にない	0
⑥その他	0



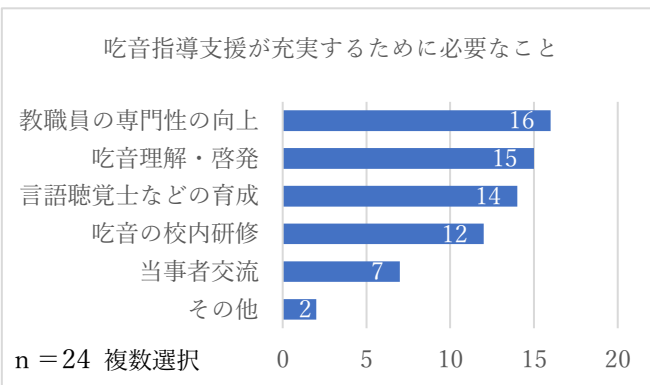
6 吃音のイベントや集まりでやってほしいことはありますか？	
①専門家を招いての勉強会や相談会	15
②子ども同士の集会	9
③当事者（大人）と保護者の相談会	5
④保護者同士の集会	4
⑤特にない	4
⑥その他	0



7 吃音に関するイベントの実施形態の要望	
①下記の②③の両方	10
②場所を決めての定期的な集会	7
③オンラインを使用した集会	4
④無回答	5
⑤その他	0



8 吃音のある児童の指導支援が充実するために、必要だと思うことはなんですか？	
①教職員の言語障害教育に関する専門性	16
②社会全体の吃音理解・啓発	15
③言語聴覚士などの専門性の育成	14
④吃音に関する校内研修の実施	12
⑤当事者同士の交流	7
⑥その他	2
・周りの子どもたちの吃音理解がとても重要。 ・吃音について理解する心の育成が必要。 ・各学校に ST などの専門家を常勤で配置してほしい	



9 吃音に関する情報

・進級する度に、言葉の教室の先生よりクラスへ吃音を含めた理解啓発をしてしてくれてる。そのお陰で吃音のからかいがなく、楽しく過ごしている。一人でも多くの先生に吃音について知ってほしい。・理解啓発が非常に大事。我が子のクラスの子たちは茶化すことなく、発表を聞いてくれた。他学年から真似されて落ち込むことも過去にはあったが、今はない。吃音を親子でオープンにする。一つの個性と考える・周りのサポートが充実していたので、問題なく生活できていた。進級しても混乱もない。いじめやからかいもない、クラスの子ども達も理解を示してくれている。先生方の配慮のおかげ。